

台風11号、今夕に紀伊半島〜関東太平洋岸上陸の恐れ

強い台風11号は25日朝、静岡県・御前崎の南南西の海上を時速15キロで北に進んでいる。

勢力を維持しながら、早ければ同日夕にも紀伊半島から関東地方の太平洋沿岸に接近し、上陸する恐れがある。

気象庁によると、11号は午前9時現在、御前崎の南南西約250キロの海上にある。中心気圧は955ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は40メートルで、中心から半径90キロ以内では風速25メートル以上の暴風が吹いている。

11号はやや小ぶりのうえに勢力が強いため、中心が近づく地域では急激に風雨が強まる恐れがある。気象庁では台風の進路に注意し、嚴重に警戒するよう呼び掛けている。

「台風11号」25日夕〜26日明け方に上陸か

強い台風11号は25日午前8時現在、静岡県・御前崎の南南西約260キロを、時速約15キロで北へ進んでいる。強い勢力のまま北上し、25日夕〜26日明け方に紀伊半島から関東に接近、上陸する恐れがある。台風は動きが遅いため、長い時間激しい雨が降る恐れがあり、台風の接近とともに急に風が強まる見込みのため、気象庁は警戒を呼び掛けている。

中心気圧は950ヘクトパスカルで、最大風速40メートル。中心から半径110キロ以内で風速25メートル以上の暴風、東側330キロ以内と西側280キロ以内で15メートル以上の強い風が吹いている。

25日は東海や関東甲信を中心に大雨となり、26日午前6時までの雨量は多い所で、東海、関東甲信400ミリ。総雨量が500ミリに達する所もある見込み。東海地方から関東地方にかけての太平洋沿岸では、台風の接近に伴い、25日夕方から26日午前中にかけて高潮の発生する恐れもある。

